

書き初め



姉羽女口山、書ハ、ア注書一抽哉！



それ一

私に
まかせて



風船を羽根に見たて、羽子板は団扇を使いました。何回続くかな？
「1.2.3…」続いて行くうちに白熱して大盛り上がり～。

にっこり・垣笥い



「眉毛は右よ～。」「鼻はもう少し真ん中かな？」みんなで協力してひょっとこの顔・完成！

井の上には花を咲かせた！



寂しい木に花を咲かせ
ようと大きく腕を
振り上げて「それ～！」
笑顔の花も満開です。

デイサービスセンター
「ハーブの家」より
2017年 1月 No.75

